



平成 20 年 2 月 1 日

各 位

会社名 日立電線株式会社
代表者 執行役社長 佐藤 教郎
(コード番号 5812 東証・大証 1部)
問合せ先 人事総務本部 次長
鈴村 慎一郎
(TEL. 03-6381-1050)

液晶用 C O F 事業の譲受けに関する基本合意について

日立電線株式会社(本社:東京都千代田区、執行役社長:佐藤 教郎、以下「日立電線」)はカシオマイクロニクス株式会社(本社:東京都青梅市、代表取締役社長:小野 佳男、以下「カシオマイクロニクス」)と、日立電線がカシオマイクロニクスの液晶用 C O F (注 1)事業を譲り受ける方向で検討を開始することで基本合意に達し、本日開催の当社取締役会において基本合意書を締結することが承認されましたので、お知らせします。今後は、平成 20 年 3 月末頃を目途に正式契約を締結できるよう具体的な条件について両社で協議してまいります。

記

1. 基本合意締結の理由

日立電線は、半導体用 T A B 事業(注 2)を注力事業の一つと位置づけており、今後の事業規模の拡大と収益力の向上に向けさまざまな方策を検討しておりました。一方、カシオマイクロニクスは、液晶用 C O F 事業における経営戦略の一環として、他社とのアライアンスの可能性について模索しておりました。こうした中、日立電線とカシオマイクロニクスは、両社の顧客に重複が少なく、また、技術面での補完性が高いことから、協業によるシナジーが最大化できるとの認識で一致し、協業の可能性と方法について協議を重ねてまいりました。その結果、カシオマイクロニクスの液晶用 C O F 事業を日立電線が譲り受ける方向で検討を開始することで、今般、基本合意に達したものです。

本件により、日立電線は、液晶用 C O F 事業の事業規模の拡大、技術開発力の強化、効率向上等を図り、同事業の国際競争力を強化していきたいと考えております。

2. 譲受けの対象となる事業の概要

- (1)対象事業の内容 : カシオマイクロニクスの液晶用 C O F 事業
- (2)対象事業の売上高 : 12,721 百万円(平成 19 年 3 月期実績)

3. 対象事業の資産、負債の項目及び金額、譲渡方式、譲渡価格、譲渡日程及び会計処理の概要等 今後の協議により内容が決定した時点で、適宜開示させていただきます。

4. 今後の見通し

対象事業の今後の見通し、当社の業績に与える影響等につきましては、今後の協議により内容が決定した時点で、適宜開示させていただきます。

5. カシオマイクロニクスの概要

- (1) 商号 : カシオマイクロニクス株式会社
- (2) 本店所在地 : 東京都青梅市今井三丁目10番地の6
- (3) 代表者 : 代表取締役社長 小野 佳男
- (4) 設立年月 : 昭和62年7月
- (5) 資本金 : 2,992百万円(平成19年9月30日現在)
- (6) 従業員数 : 679人(平成19年9月30日現在)
- (7) 主な事業内容 : 電子部品の研究・開発・製造・販売
- (8) 大株主及び持株比率 : カシオ計算機(株) 75.13%
カシオマイクロニクス従業員持株会 0.87%
資産管理サービス信託銀行(株)(金銭信託課税口) 0.80%
(平成19年9月30日現在)
- (9) 純資産 : 7,227百万円(平成19年9月30日現在)
- (10) 総資産 : 27,951百万円(平成19年9月30日現在)
- (11) 売上高 : 20,946百万円(平成19年3月期実績)
- (12) 決算期 : 3月31日
- (13) 当社との関係 : 資本関係、人的関係等はありません。

(注1)COF : Chip On Film の略語。2層基材を用いた液晶ドライバーICを搭載するパッケージ材のこと。

(注2)TAB : Tape Automated Bonding の略語。フィルムを使った半導体用パッケージ材。日立電線のTAB事業の中に、COFは含まれている。

以上